



洛星新聞編集部
京都市北区小松原南町
TEL(463)3281(代)

印刷 鶴吉川印刷工業所

45年度
大学入試終る

國立大學一期の入学試験は、各地で三月三日から数日にわたって行なわれた。今年度は「頂点」に立つ東京大の入学競争率が、それぞれ二・二倍、二・五倍と例年にぞく低く、受験生のこれら「有名大学」に対する幻想が、昨年の東京大の入試中止を通じて切り磨きつたことを示している。（本校からの進学者に関しては別表参照）

現在、文部省下で入試制度の改革案の審議にあたりつつあるのは、文相の諮問機関である「中央教育審議会」（森戸辰明会長、昨午十一月入試小会決定）、學術局局長の助言機関である「大学入試改善会」（小川芳男理事長）の二つで両者の最終的な答申が出れば来年度からの入試に大きく影響しう。これらの審議では「入試改善」の具体的な方法として、①内申書の活用、②統一テストという方向で実現についでこうという意図である。

一方、各大学でも独自の調査委員会を設けて入試制度の再検討を行なっており、東京では二日に第一試験論文を学力テスト、第二次試験を論文テストとするという改革案が出された。この改革案は、内申書の活用による入試方法の合理化なども盛り込まれており、基本的に大学の「近代化路線」を受け

来年度からの入試展望

六八・六九年の大学一高校に至る全国学園闘争のもたらした教育の「危機状況」を大学臨時審議法の強行可決、機動隊学内駐留などの強行行為によって「乗り越え」て来た政府文部省は、この機会に教育制度総体の入抜本的改革を目指しており、その一環として各諮問機関を通じて「入試制度改革」を検討している。

この統一、③浪人受験制度などの施策がとりあげられているが、五月二十四日に発表された文部省の四十六年度入試要項には、①の内申書重視が大幅にとりいれられている。

つまり、現在のところ②の統一テストを実施するのは各大学の独自の主張や、教育の中央集権化に反対する世論（能研テストの不評などを考慮すると懸しい）とて内申書重視・学力テスト廃止の

これらの政府、大学の入試改革策は、全く内申書重視を通じて受験過競争を緩和することを目指しているのであるが、それが、ストレートに矛盾の解消につながるかは極めて疑問である。

内申書重視は、受験勉強からの解放といった肯定的側面と同時に「進路指導」「個性指導」の名に在る学中的差別の可能性をも有している。この懸念が富山県において「七・三教育」として現

△各大学合格者数一覧
—昭和45年度—
▽

京都大	70	(33)	岐阜大	2	(2)	東京教育大	1	(0)
同志社大	32	(27)	東京都立大	2	(1)	金沢大	1	(1)
慶応大	19	(11)	関西大	2	(2)	東海大	1	(1)
関西学院大	16	(13)	明治大	2	(2)	成蹊大	1	(0)
早稲田大	14	(12)	立教大	2	(0)	京都聖大	1	(1)
京都府立大	12	(10)	大阪工大	2	(2)	大阪聖大	1	(1)
東京大	9	(1)	九州大	1	(0)	横浜市立大	1	(1)
立命館大	7	(7)	大阪大	1	(1)	大阪市立大	1	(1)
神戸大	5	(0)	北海道大	1	(0)	東京工大	1	(1)
京都府立医大	5	(1)	横浜国立大	1	(1)	上智大	1	(0)
京都工繊大	5	(3)	東京外大	1	(1)	九州工大	1	(1)
神戸商大	4	(4)	滋賀大	1	(0)	愛知大	1	(1)
東北大	3	(0)	神戸外大	1	(1)	酪農大	1	(0)
名古屋大	3	(2)	秋田大	1	(1)			
東京医科歯科大	3	(3)	長崎大	1	(1)			
岐阜大	2	(0)	信州大	1	(0)			

(注・カッコ内の数字は、合格者のうちの浪人の数)

新生徒会執行部

ようやく
発足した

五月十三日、四十五年前期生である。とすれば、今回の幹部三
 人会執行部が完了した。メンバー三名ともに運動部の部員であ
 るは△会長・山田幸徳△副会長・佐村三郎△書記・服部順一
 の三君である。いづれも高2である。彼らが十二日の立会演説会で述

四十四年度後期生徒会が四月二十日で任明切れてあったからおよそ三週間の事務空白期間があったことになる。

現在、生徒会役員に立候補する生徒が少ないのは全国的な傾向のようであるが、生徒会が廃止せず事務の執行ができないとき最も困るのはクラブであろう。つまり、予算・決算を承認されなければ活動に支障をきたすことが多いから

べた」と要約すると

▼執行部と一般生徒会員とが遊離していることが生徒会の盛り上がりをもたさざる原因である。したがって、執行部の機構改革に着手し、一般生徒会員の中にある日常的な意見を常にとり入れて活動の方針としていくことに努める。▼そのために、広く討論の場を設け、その一端として委員会制度を用いる。こ

実化している。また、内田書齋の素人企業は、国内労働力の不足、アジア市場の開発、国際競争の激化など、労働力の存在は、生徒の活動に対する結び付け強化された管理体制への可能性を暗示している。これらに、管理体制は生徒の間に一層の分断と競争の関係を生ずるであろう。

予定変更

万博見学中高とも中止

はクラブに入っている人の便はいけなからである。そして執
行部を考へて、屋伏を中心にして、開き
自由、任意を發表して貰う。
というものであった。

しかし、委員会制度をとつた
しても人間が集まらなければその
意義は達せられないわけであり、
現在の状況から見ればその可能性
が多いと言へよう。たとえば各ク
ラスにおいて、生徒会に關係し活
動しているものが多くとも十人を
感えない程度であるようにであ
る。(もちろん、このような悲観
論はいけないかもしれないが後
期のためかききる委員会によつて事
実が示されている。)

最後に、これから多くの問題で
我々生徒会員の前に、また執行
部の行く手に現われるであらう。
が、その問題を解決してけるよ
うに我々会員は執行部をもちたて
ていかねばならない。というのも
ある。

執行部の決定は絶対に許してはな
らず、また決定の条件をつくつて

き、風大となるからである。
〔四十五年度後期生徒会執行部〕

会長	山田 幸徳	2D
副会長	佐藤 孝	2B
書記長	服部 順一	2A
風紀委員長	國府俊一郎	2C
文化委員長	上田 恭典	2B
体育委員長	齊田 徳二	2D
会計委員長	本河 晃	2A
無任所委員	木野 良彦	2A
〃	三輪 慎	2D

現在(五日)までに評議委員会
で承認されている委員会は▽文化
祭特別委員会▽規則問題委員会▽
高校生問題研究委員會の三つであ
る。このうち、活動できる段階に
あるのは文化祭特別委員会であ
る。

〇文化祭特別委員会
委員長・近藤善弘 服部順一、

佐藤 孝（顧問）

この委員会は昨年、時間切れで中止された文化祭を、新たな形態をもって復興させるためにみんなで話しあおうというもの。

委員長の一である服部君の談話――

「昨年の文化祭は、何回も総会を開いて話し合ったにもかかわらず時間切れで中止されました。しかし、我々の間に不満があり、若さがある以上、多くの人たちがいろいろなことを発表したいと思のは当然と言えます。この委員会で去年の事件を出発点として、新たな発表の形態（文化祭）について話し合っていくつもりです。」

以上のように服部君は語っている。このような委員会がこれらもつくれることが予想できるが、より多くの人が参加することによってより充実した機関となっていくだろう。

“洛星の動き”

○万博見学中止に決定！
二日間予定されていた万博見学は種々の事情から中止となった。

○総体開催さう！
五月の中頃京都府下の各会場で二十三日総合体育大会が開かれ、全体として洛星はあまり良い成績を上げられなかった。

○グラント問題深刻化！
以前から問題のあったグラントでのクラブ活動の割り当てについての不満は、スポーツの季節になるとますます深刻化した。

○食堂への不満高まる！
洛星の食堂がますます高いという事で校外へ食へに行く者が多く出、補導班はあっても、昼休み見張りを出すという有様となった。

○新生徒会執行部殆ど足立！
長い間空白を占めていた三三の席もやっと始まり、何とか「星民主義」をとりつこうとすることが出来た。

長い間やかましく走りまわっていた知事選の宣伝力をも姿を消し、京の町は再びもとの静けさにもどった。この選挙も結局自称「革新派」の候補が公選として、洛星ではこの選挙について「知事選では革新派に勝つてもらった方が洛星にとって都合が良い。」という声があったのだ。府教委主催の討論会への参加にすら許可をしるほどの保守的な洛星の中からもこの保守的である。

保守派は、京都の公立校の教育程度の低さを攻撃し、北野など大合格者の多い学校を例にとつて大阪の教育をはめたえていたことからも見ても、彼らの理想は京都の公立校を有名受験校に作り変える事である。それが彼らの「良い学校」なのである。つまり京都に

予定変更

万博見学

去る三日の朝礼で、予定されていた六月二十九日と七月二日両日の万博見学は中高とも中止するという発表がなされた。その理由として、

○入場者が多いため十分見学が期待できない。

側が最も考えるのは、教育的価値があるかどうかという事である。

当初、委員会は世界各国の地誌・歴史また風俗などを知るうえで、

でちょうどよい機会ではないかと考えていたが、実地調査の結果から、金銭が見た方がよいと思われ

中高とも中止

ある。そうなれば落星の合格率が落ちる事は必死である。一方、革新派は受験教育を否定し、もっぱら「自由教育」を推進している。当然大学合格率は下がる。

おまけに革新派は「私校校にはその学校独自の伝統や校風があるためそれを尊重する。」というけっこうな方針があるので落星には少しも影響しない。落星が受験教育をしうが何をしようが黙って目をつむるというのである。革新派はいくら自由平等を説いても結局は少数のエリート生徒を主

第23回 総体行なわる

五月十六日を中心して第二十下級と、三回京都府高等學校聯合体育大会が行なわれ、我が校からは十二クラブが参加した。

今大回において、バドミントン部上級は前年に続いて連続優勝し下級も準優勝であった。陸上競技部では一年四百メートルが二位、三年走高跳が三位にそれぞれ入賞し、バスケットボール部、サッカー部、バレエボール部もベスト8入りを果たした。

しかし、ハンドボール部が上級

			X		
				X	
X		X			
X					

は雨天のため無期延期となり、硬式テニス部上級も六月二十日に行なわれる予定である。(記録は四

と七月三日の題目が割り当てられたが、協会側からの資料等の提供が遅れたためようやく二月中旬になって全生徒に発表された次第であった。

その間委員会は見學をまえ、あるいは予定している他校の経験等を参考にするために調査し、その後集められた資料を参考にして、五名の先生方が二回にわたって実際に会場を見學された結果、次のような理由で中止となった。

1、学校行事として行へない学校になつてくる。そうすると、近

また一方、待たずに入れるようになるところはそれほど価値があるとは考えられない。

したがって、教育的価値の面からいって授業をつぶしてまで行く必要はない。

2、少なくとも六百人もの生徒が一度に行くのであるから、引率として見學することはとうていできず、統制することもできない。したがって、どうしても会場では数人ずつのグループ見學ということになつてくる。そうすると、近

ない。
 五、昼食時に、食費が十分用意されていらない。また、弁当を食べるにしても、「4」と同様、適当なところが見当たらない。そのため非常に不便である。
 6、非公式な調査によれば、中学二、三年の七、八十%の生徒がすでに一回以上行っているため見学しても意味があまりないと思われる。
 以上のこととを検討した結果、先の職員会議において中止が決定した。

○残念な授業が百多くなった
 ○羨しみにしてたのにナア
 ○これがアタリマエなアンナ
 ○行つて何になる。ツマラン
 ○始めから、どうせ中止になる
 ○うと思つた。期待してない
 ○だから別に何も思わない
 ○試験前にはなんでも遊ぶ
 ○てはかけている。勉強した方
 マシだッ

○万博は安保をこまかすための
 の。安保粉砕！万博粉砕！

新議堂が使用されたという事実もある。
何にしても、今年、大方の予想を裏切つて七十一人もの京大合格者を出した落果は、この先四年は今年のまゝに京都のトップをしめる事が出来そうである。我々にとつては喜ばしい事であると言へるがなう。

(M)

長浜勝利

その様な中で本校において「仮設実験授業」による科学教育を意欲的に推し進めておられる長浜先生にその資料・今後の展望等について執筆の労を願った。

ことがわかった

（飯）とは何か、というタ
トルで文章を書けるだけの（飯
への理解と実践をもち合せてい
くので、以下、僕が共鳴してい
る点について雑感という形で書い
て、日頃考えていることをまづ
云てみようと思う。

第一は、（飯）研究会が、『

「あてていく」(仮
研究 NO 16、9
「〇」という方面で
解決しようとして
いるのである。そ
して、現在、すで
にそうした授業ア
プロウ、はたして

職の発展

砲火はなかった、とか……」

は、金浦では、平壤だと思わせた、
ような偽装がされていた、な
ジョッキングな事実である。こ
ことは、「乗っ取り」そのもの
同様に、僕に多くのことを考
せてくれた。もう一つ考えさせ

としてゐるのかを書いてみる。

(仮)研究会の現段階は、
校教材の授業書を、かなりのもの
まで(範囲においても、質に
ても)つくり上げている段階
る。問題は、中・高等学校
でそれが可能なかどうかと
こと。板倉氏は、(仮)を「

戦争が、多分、この程度で済む。戦争は、罪のない人々が殺傷されていく。またレテフラでは多くの人が死んでいる。このような事態は多くの人々に深い憂鬱をもちたっている。また、海にはない。国内においても一万人以上の方が交通戦争

る。は、が飢えをせず、最近、他人の事を念へ、また、他人の利益のために、手段を選ばないという風潮が、これも結果的には先に述べたとおり、生命そのものを破壊

競争であり、ただのうのうと
と家の間を往復しているだけば
その競争に負けてしまう。少
とも我々が大学をめざしてい
れば、その競争に勝たねばな
い。だから、そういう中でき
功利的に物事を考え、自分の

[illegible]

一やか
未を受
はない
の核心
にいる
解款す
にある

を通じての認識の発展

<p>僕は、理科教育のいや、理科だけでなく、学校教育の目標の一つとして、「科学的なるもの考え方の育成」をどうしてもかかげたいと考えてきた。それは、自然の諸法則を認識するのに必要とされるだけでなく、この社会で、正しく生きていくのに、どうしても必要とされると考へるからである。自然は、時とし</p>	<p>ことは、同様に、せめてこれらものたこのの判方を書信かりで……困った事上、現象またた常正しい力一つ情報る新エ断くが</p>
---	---

「兼つ取り」そのものとする。周圍でもつた。もう一つ考えさせらるゝとして、知事選があつた。場合、二つの会からで、相反する内容を事実とし、いくばくかの人を悩まして、どちらが正しいかといひたいと、何人かから学校で使はれたいといふ。板下を、かといふに、少ししたいと、実践されるのプランが加わつて、書での授業（これは）（めつた）

くりかけている段階であ
は、中・高等学校教材
可能なかやうかという
倉氏は、(仮)を「科学
」と位置づけているが、
どの段階までやるの
うことである。この課題
でも貢献するため努力
魚ついている。現氏、す
の中・高の先生が、小
用している授業案、ある
を改訂したものを使っ
てゐるし、あるいは独
を試案として作つて実
験する。僕もそうした仲
に、まず、すだにある授業
業経験を積もうと思ふ。
今年度から本格的に始
して、不十分な授業書
多々の心
をもた
けては
生となり
業のため
しめらわ
あげられ
人命懸
しなけ
やもす
自分
このよ
概にその
結果を録
我々は
について
正しな

ある人々に深い憂慮の念を抱いてゐる。国内においても毎年、海外にても多くの人が交通戦争の犠牲となり、利潤のみを追求する企てにより、多くの人々が公害で苦しんでゐる。このような事を止めるのを望む。このようにキリがない。このような黒潮は、もちろん阻止しなければならないが、我々はやはり情性的な方向に流れ、関心になりがちである。

無関心さ（文明人は一般に強引が嫌う）傾向が強いのである。たとへば、自分に関係ない事でも、不利にならない事も、人の生活に害を及ぼす事に対しては、道義的責任を負ふ必要はない。

宇段を

即ち、これら

わけのわ

理国は、

側参考ま

るが、何

校」とい

け改善運

らないと

それを非

のであ

選はないという風潮がある。私権」の横行である。私権的には先に述べた生命そのものを犠牲にするものがつてくる。それはひ類主体の不幸につながつてゐる。
 多量な富にも当然なからぬ事を並べたた讀者の方の注意をひいておこさうと思つたからである。この「落馬高」一つの社会をできた。多量な富にかなはねば痛感したからである。それは、個人個人の心の中に生ずるべきでなければならぬ。それはむづかしいものといふが、努力を怠らぬ。とも我らには、だ。功利的に關係でない。戦いで人を倒すとなす。だ。センスを介して。あさむ。達を。も勉強。たり。

々々が大学をめざしているな
 その競争に勝たねばならな
 から、そういう中で我々は
 物事を考え、自分の受験
 のある科目を重視し、そ
 うものは格別な傾向があ
 る。又一方、この受験
 あるのだから、少しでも他
 について勉強にフアイトを
 かけて生徒総会なんかはナ
 ンという事にもなつてく
 クラスの友達は、受験勉強
 として「敵」となる。敵を
 くも戦いの作戦の一つた
 少なからず敵「クラス」の友
 ださむこうとして、自分は向
 してないといふいぢょうし
 をとら
 だけで
 以上
 から現
 いなく
 度を肯
 はない
 事もな
 であ
 にあつ
 か。こ
 いのだ
 のであ
 だまさ
 それが
 えるの
 全な資

えまして、現象を見ている
ではないか。

のように僕は分析、解釈す
れば僕の分析・解釈である
実と完全に一致はしていな
う。又、僕はこのような態
定しようとしているわけで
。ただ、もっともだと思う
いではないが……。

我々はこのような日常の中
でどうすればいいのだろうか
の現実には押されている
のうか。結局は現実を受け
る行動に移すかが問題な
る。勉強に忙しかけても、
れたかと思つて考える事だ。
唯一の対処方法か。何故考
だ、と問われても、僕は元
を示すことはできないが

授業書が組
て考へられて
ものは「天動説」で
た認識をしてきた。歴
史的に、
一般の文藝
性は、「理
えたいとい
主眼となつ
ことではな
かにして可
学の歴史を
は、そうし
疑問予
中で、仮説
を考へてし
字想し（演
とより自然
「意識

はちが
みせる
時、人

授業書が組
て考へられて
ものは「天動説」で
た認識をしてきた。歴
史的に、
一般の文藝
性は、「理
えたいとい
主眼となつ
ことではな
かにして可
学の歴史を
は、そうし
疑問予
中で、仮説
を考へてし
字想し（演
とより自然
「意識

かつた現象を、
 間は、必ず
 ず、誤ま
 使上有名な
 あり、
 けでな
 せ、それ
 つかない論
 察の法則性
 である。歴
 重いものは
 る」とい
 単における
 距離が、1
 比をなす」
 ところか、も
 本質と

生きているに
 考えるのえん
 (仮)は、その
 いて、いふ
 判断力を養成
 ではないかと
 ある。とも
 単に達せられ
 の一生の課題
 自身について
 がつかない
 改革して、
 めに、言
 り、あせてイ
 ことが多
 顧の重要性を
 るべき次第だ

第四は、子供達

目録をもつて、必要だと
 思つた。自分
 真偽の判断
 増状をよりよ
 がもてないた
 あきらめた
 フレたりする
 して、その課
 履修に就中し
 だ。

通修法にお
 とも、正しい
 貢獻するの
 である次第で
 の課題は、簡
 る。

(飯) についての
 ん多るが、入門書と
 は、国士新書18「
 育」(板倉著・三三
 論的基礎を述べてい
 社「仮説実験授業入
 ・一、八〇四) 季
 方法」(板倉著・
 (一九七〇

次に、中学校教材
 の改訂に着手する
 成に着手するため
 を作るなり、他の人
 するなりして、授業
 以来、この二年
 僕と飯とのかか
 え、やっていきたい
 る。

の授業書の作
独白のプラン
の試案を採用
にたこと。
間の当面の
わりとして考
と考えてい

又紙はたぐさ
して面白いの
て、その科学教
育の、国士
門（庄司著
）「科学と
八〇〇円」な
四・十六

激しい怒りをもち
しかし、そんな事
理の解決は、何の役
言う人があるかも知
う。氣持ちは多く
くによつて少しす
くではないかと思
では、人命を尊重
具体的にどんな事
か、まず第一に人
さというものをすべ
分に認識すること、
特に家庭において他
重といったその教
必要であるが、それ
りない。結局、人間
となる一種の哲学を
要がある。第二に良
結果と行動。かつて

はならない。すればできるものな
をしたらつて問
もたないが、そ
人間的なように努
ない。「ということ
間」という定義に
は省かせるが
価値ある偉大なもの
間になるように努力
うと、不忠義に思わ
ての人々が充
このためには
人の人格の尊
育が是非とも「間」という一種の境
だけでは事足るのが、いかに多い
の精神の根幹は、目のまわりを
値え付けることもすぐにわかること
識ある人々のための一例、いやそ
ドイツ国民のものとして文頭に「

[illegible][illegible]

畢の活動の生徒
君達は、何をす
心願の事を考え
々と話し合つて
画にのみ終らし
ちもいかなくな
ならないために
る『無関心層』
る君達自身の論
べきだ。

「投稿には原稿用紙を使用して下さい。割付けの都合で短かくすることがあります。」（編集部）

我々のなすべきこと

山中啓之

我々は今……

W
•
W

3S—スタミ

ナ・スピード
スピリット

の精神で

主将 久保田和昌

我チームはよく相手ゴール前でボールを素通りさせてしまった。F・Wのつめの甘さで負けた。

対洛北戦2（20101）洛星
前半は守つては桜井の上芝マ
ーク、三木の藤井・マークがほ
ぼ完全でF・B黒田・三宅、
H・B西村・久保田もいいマ
ークをし五分五分。そして田
村が山田とのコンビネーション
からいいドリブル・シュー
トを決めリードした。後半は
入つても一進一退だったが、

洛北戦②(2011) 1 洛星
前半は守っては桜井の上まで
マーク、三木の藤井マークがほ
ぼ完全にF・B黒田・三宅、
H・B西村・久保田もいまい
マークを五分五分。そして田
村が山田とのコンビネーション
からいいドリブル・シュー
トを決めリードした。後半に
入っても一進一退だったが、
十五分頃混戦から決められた。
同点。なおも二十五分頃に幸



長距離を走ったり、イン
バルで訓練している。
ビードはいろいろな種
のダッシュ、練習中ボ
に素早く身を寄せるこ
とを得しようとしている。
してスプリットは、こ
クラブ活動では大変重
要だが、出来るだけシ
ィングを数多く聞き、ま
アンケートをとるなどし
養っている。

試合から分析してみると
新人戦▽

東山戦3(03/12/22)2落星
前半はマーク確認がしっかりできていないうちにロングで一点とられ、浮き足だったところへ個人技でたて続けにとられた。しかし後半の中頃から攻勢にて、久保田のセリタリシを田村が頭に合わせた一点。続いてP・Kを安田が混戦から入れて二点。そして三木がシュートした所でタイムアップ。後半はかなり自分達の試合ができ、G・KもD・Bもガッチリ守った。

後半にしてもバテなかった洞りには、後半で点を入れられて負けているケースが多い。やはりまた体力的に劣っているのだろう。スピードの面を考えてみると、まだまだという感じがする。

スピリットの面では、個々の集まりとしてのサッカークラブは他のクラブより劣らないと思う。だが、クラブとしてのサッカークラブはまだまだ

クリーンシュートを決められなかった。この試合はみんなで出せる力を十分発揮し、強豪落星を苦しめた。

サッカー部顧問 山岡 聡

サッカーというスポーツをどのようにお考えですか

に一人ひとりのプレイヤーはたずず全体の自分のものを背負って生きていかなければならない。「ハ

顧問になるまではサッカーの試
ひとりのために」という僕の一番

「さうして、今までの北草のハニ
デ好きな言葉で現実にはなかなか居
られないことが、サッカーのチー
ムプレーの中に生かされている」
とどうしたら強いチームが作られ
るかをチーム全体で考えることを
通じてこのことを学んでほしい。」
顧問としての僕の願いのことや

ものを考えるようにもなりまし
て。勿論、テレビ中継があれば殆
ど欠かさず見えています。

自分とボールを蹴らないので一
瞥を見ているといつも中に入っ
て一語に観りたくなるのですが、
サッカーの面白さはチームが
見えているだけの立場から考える
ということだと思います。しかし側
面からいくらずきでもこれだけでよ
い試合はできない。チームがよい
配合をするためにはプレイヤーの
位置を占めなければならぬとい
う他方、チーム全体がその一人
と密接に関連して動いてい
ることを要する。そしてそのため

現在のサッカー部を顧
問としてほめるべき点
としてどういうものが
ありますか

——これはサッカー部に限らず、
どのクラブの部員もそうだと思ひ
ますが、サッカーを真面目にやつ
ているという事です。

僕は、特に高校のサッカー部員
ですが、彼らがサッカーをしてい
ることには一種の敬意を払わずには
おれません。——高校生が自分の
したいスポーツをすること自体至
極当然のことでも立派なことでは
ないのですが、今日の高校教育
の実体の中では何もかもまして立派
なことに思えるのです。教師等
としての生徒の姿に感動すること
がよくあるのですが、サッカー
部員を見ている時にそれが一番多
いのです。

今後サッカー部をどの

なので部員にみんな喜んでゐる。はくが二月中旬にキャプテンになつてからまた数ヶ月だが、はくの目指すサッカー部というものをかいてみる（まだボジャリしたものだが）。まず大いに部員の意見を聞き、それを取入れみんなが参加して樂いていく事のできるクラブにしたい。しかし、妥協は必ず重ねてクラブの本質をゆるがすような意味ではない。（これは去年も今年も理由がはっきりしないのに、クラブをやめていく人がいたから考えた事である。また、理由はわかつててもその理由の納得のできない場合もあるからだ。やめる場合は、やはりクラブの問題としてはっきり言つてほしいものである。）それから一つは勝負よりクラブ自体を重視したチームづくり

をした。しかし「勝負より」という事は負けていいという事ではない。ここがむずかしい所だと思う。しかし京都府の泉ヶ丘中学のバスケット部は、この勝負よりクラブを重視したチームでありながら近畿大会で好成績を取め、ジュニアスポーツ賞を貰つてゐる。我々チームもそんなチームにしたいものである。

（編集部注：現在コーチは新任の藤田先生がしておられ、このことについて顧問は『絶対にコーチに頼らずに、今までと同じように自分たちで反省し考えていってもらいたい。そうしてはじめてコーチの言葉が生きてくると思ひます』と言つておられます。）

ようにしていこうとお
考えてすか

——我がサカー部の最もよい習慣の一つは、何か問題が起こったらそれがどんな問題でも全員で話し合うということです。休部、退部の申し出があった時は、その人の安易を全員で検討する。その人者ではなくて、両者ともなうやり抜くか——についても悩んでほしいかったと思うことが多い。サカーをやめたら勉強ができるよと誘って来ている場合が多いように

があれば、全員討論の上で彼を批判する。

話し合いそのものは、ずしもスムーズに掘んでいるように思えないが、この全員で話し合つて全てを決めていくということを通して、クラブ員は学校で学何にもまして大切なことを身につけてくれている。愛媛以上に大切なことは思うのですが、日本の全ての良

ものを。
今後のサッカー部は、この全員討論を中心にして練習し、試合し、反省し、計画する。このようなクラブになってほしい。そしてこの習慣をわがサッカー部の誇りある伝統にまで高めていければと思います。

サッカー部に対して何か要望はございませんか

——サッカーをするごとに勉強をすることを両立させることの矛盾にもっともっと悩んでほしいということがあります。それは別のいい方をすれば、もっと厳しく練習をして、もっと勉強することの困難について深刻に悩まもって干渉的に勉強してほしいということです。

休部、退部の理由の大部分が勉強をするからということだが、サ

識ある教師が一語になって教育条件を改善し、整備することを前提にしなければこのようなことは言えないはずです。

グラウンドについて何か要望はございませんか

——太いです。そのうち一つだけあげると、今のグラウンドでは時間的にも空間的にも狭すぎるということです。狭い中で中・高の教多多くのクラブが練習をする。その上、木曜日は使えないということがクラブ活動にとっては何よりも困ったことです。

現在サッカー部の顧問をしていて一番困ることは何ですか

——体がぶぶざぶざすることが一番つらい。どうしても疲れるが残りのと共稼ぎの我が家では日曜日をつぶされたと奥さん之余にも負担がかかりすぎるのです。我が家では日曜日の午前中は僕が洗濯することになっていきますから。

菅原 章

「変更に
なくするよ、他に方法がない」

頃、生徒心得が一部「変更」
 しましたが、これがどういう意
 もとに行なわれたのか、どう
 意義があるのか考えてみまし
 らです。

す、私たちが気をつけなければ、それから、去年の遺囑処分ではないのは、これが文字通りめたことも関係している。更にあって、決して緩かなう。学校側がむきになって呼べるようなしるものではない。学校側がむきになって呼べるようなしるものではない。

「更」という言葉は、ナドウ校理の「保護者各位へ」という文でもいのような規定はやま（まおうと思つたのでしょう。）

の文書には、具体的に三つの「更」が書かれています。

「一は「学校からの帰途後、主化」などと言ふのは愚の
から外出する場合の制服着用す。
由になります。」という「変2、
「洛星の生徒らし

です。しかし、私たちの中の
前記の「保護者各位へ」
たい何人が、家に帰ったあ
う文書には、「洛星の生
か。それに、こんな校外のこ
「生徒としての」が各
てきます。文章の中に、お
うか。へや、だいたは「学校
う言葉裏に、西国も片づ

校外の個人の行動まで束縛です。ちなみに、生徒心得に

二に「高校生は着帽を強制し」「落星の生徒としての自
らな、別な望、色彩の帽子着し」というのは何なので
出来ません。」といっているか。

それが「俺は京高のヤンキー
制服以外の帽子をかぶって、
はまきしかけません、制服
がって、タバコも吸って、
ぶっていいか人は高学年にな
にもはいらず、女の子にも
て、大入、卒業する日

加してききました。その上、校
とてではなかつていても、
からはなれるとぬいでしま
多く、これも取締りようがあ
せん。
三に（制約は）「高校では指
たしません、質素なもので
事を望みます。」というので
、高Ⅲで学校のかはんをもつ
てゐる人など、むしろ少ない
いでしよう。
上のことからわかるように、
の「変更」は、実際に守られ
ない規定を実際に行なわれて
ようにかえただけです。非
かに行なわれていたことが
法」になつただけで、現実
らかわりがありません。「生
得の中に守られていないこと
であるということとはゆゆしい
。しかも、それを取締る方法
い。」とすれば、その規定を
意図をエリート意識と呼ぶ
前、ある先生が「エリ
いうとみんなは否定するが
ートというのは、選抜はた
いう意味なのだから、君な
リート意識を持つべきだ。ナ
時に試験で選ばれなかった
ら、良い意味でのエリートと
ちゃんと持つべきだ。」と
事があります。「良い意味
リート意識」とは同だとい
はさておくとしても、この
は、さきに述べた考え方と
危険です。
私たちは確かに、中学の
試験をうけて「選ぬぬかれ
た。だから「俺はあいつよ
の点は良かったぞ。」とい
をもつても誤りではありま
また、そういう非常に限定
意識をエリート意識と呼ぶ

それはあくまで「それだけのことで、
 んでもかまいません。しかし、そ
 れはあくまで「それだけのことで、
 んでもかまいません。しかし、そ
 れはあくまで「それだけのことで、
 んでもかまいません。しかし、そ

「私がかくは、たまたま落
地に入つたにすぎないのに、それ
がいつのまにか「俺は同でも人よ
う偉いのだ。」という意識に変わ
ります。女のうただからとか、退
廃的だからとか、だらしないとか
か。しかし音楽の本を見てみまし
ょう。バッハ、ヘンデル、モーツ
ァルト、ベートーベン、シューベ

る事です。もろくなるとしたら「洛星の生徒としての自覚と誇り」などというのは、とんでもないものになってしまう。

3、「長髪問題」
現在の高Ⅲの中には、長髪と認定されるような髪の人が多いままです。私自身も長髪にしたいというから私は、長髪解禁にすべきだ

衝動にかられる事がたびたびあり
ますが、先生と顔をあわせるたび
と、思ふのです。

4、「自由への道」

に口論しなければならぬのが嫌で、いまだに実行していません。そういう意味で、現在長髪を実行が載っています。

前とうしろに「ヨハネ」と「詩篇」からの引用があり、うまい文法で書かれた文章なので、私が「(3)」で述べた事項を二度否定されてしまったかたがた印象を受けるかもしれません。

「規則は一種の手段であって決

た。この規定には三つのことが書
す。この規定には三つのことが書
かれています。第一、「清潔」とい
うことで長髪を取除くなら、これは
こじつけと言わざるを得ません。
一般的に言って長髪の人はいつも
髪を清潔にしています。他のふた
つ、すなわち、短髪という事と、
髪を切るわけではなくて、その

かりそうです。しかし、そう言っ
して目的ではありません。」うっ
となるほどと肯定してしま
しいまいます。そして、
っている学校側自身が規則を整修
化する管理主義におちいついてし
ている事は、まえの「エスケー
プ事件」で暴露されました。例

「私は「これが規則なのだから」という論理には納得しません。なぜか私はその規則を認めないのです。規則は前からあった。それを知りながらこの学校へはいってきたのだから、それを守るのが当然だ。なのに反論が出てきます。しかし、どの学校を見ても、ここなら自分にはまった満足だ、などというものはめったに見つかるものではありません。だとすれば、相対的に気になった学校はいって、その学校の悪いところをあらためていこうと努力するより他ないでしょう。それさえも否定するのなら、私は断てその規則の価値を決めてはいけません。ひたすらこの規則を守って下さい。負担になっても抵抗があつてもどうかこの規則を積極的に守ろうと心がけて下さい。これのための存在であり、これは「皆さんがこの規則に何等の束縛も感じなくなった時」とこそ結します。しかし、そうでしょう。か。こんなに規則、規則でしづめられていても「何等の束縛も感じない」人間が自由な人間でしよう。か。私はそうは思いません。そんな人間は、どんなに抑圧されてもそれを甘受する気のないふゆけのような人間です。人生の敗北者です。そして、今までの社会は、まさにそういう人間、将来は並凡なサラリーマンになって、小きくても幸せなマイホームをきすきたいというような人間——を要求してききたのではないですか。」

第23回総体記録一覽

バドミントン

上級の部二年連続優勝

単・山本、複・山本、壁館組

△5月9日▽

下級の部・ダブルス

○一回戦

前川 2 1111 6 1

高橋 2 1111 6 1

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 7 1

高橋 2 1111 8 5 11

杉原 2 1111 8 5

前川 2 1111 1 2

高橋 2 1111 1 2

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

高橋 2 1111 2 0

杉原 2 1111 2 0

前川 2 1111 2 0

サッカー

ベスト8進出

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 3 0 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

洛星 2 1 1 1 同志社

硬式テニス

△5月9日▽

上級の部

○一回戦

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

洛星 0 0 2 1 3 朱雀

弓道

△5月17日▽

上級の部

○一回戦

洛星 12 6 1 2 3 日吉丘

洛星 12 6 1 2 3 日吉丘

洛星 12 6 1 2 3 日吉丘

柔道

△5月17日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

洛星 4 1 1 5 13 嵯峨野

剣道

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

洛星 4 8 1 3 1 日吉丘

陸上競技

八百メートル2位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

走高跳3位

バレーボール

ベスト8進出

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

洛星 2 2123 1021 0 桃山

バスケットボール

ベスト8進出

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

洛星 54 2326 2513 38 桃山

卓球

卓球

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

局報

局報

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星映研結成さる

洛星映研結成さる

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

雑記帳

雑記帳

△5月16日▽

上級の部

○一回戦

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2

洛星 4 伏見 2